

整形外科紹介

— 当院での脊椎外科診療 —



整形外科 医長 久保 貴博

はじめに

当院整形外科では、脊椎、膝関節、手、肘関節、外傷疾患を主に診察しております。各分野毎に専門化した治療を行っており、脊椎分野におきましては、わたくし久保と萩山医師、膝関節分野では宮本医師、手・肘関節分野では大坪医師が専門外来を行っています。その他、嶋村、河田、阿部、丸山医師の計8名で診療を行っています。今回は脊椎診療についてご紹介させていただきます。

脊椎外来

毎週水曜日の午前中に脊椎疾患を扱う専門外来を行っています。診療している主な疾患としては、頸椎性脊髄・神経根症、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎後縦靭帯骨化症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、胸腰椎圧迫骨折、圧迫骨折後偽関節、化膿性脊椎炎などがあります。頸部・腰痛、四肢のしびれ・疼痛・脱力、間歇性跛行といった症状を有する患者さんを診療しています。

まず、外来で診察し神経学的所見をとります。その後、単純X線写真、CT、MRIなどの検査を行い、病態、症状に応じて保存療法、手術療法を選択します。

治療

1. 保存療法

頸椎・腰椎の狭窄や椎間板ヘルニアに対しては、NSAIDs、プロスタグランジン製剤、プレガバリン、トラマドールなどの内服薬や外用薬を中心とした薬物療法を行います。疼痛が強い場合には、硬膜外ブロックや神経根ブロックを行い、効果が乏しい場合や筋力低下、歩行障害、膀胱直腸障害などがある場合には、手術療法を行います。

胸腰椎圧迫骨折に対しては、コルセットを3カ月程度装着していただくことにより、ほとんどの症例で骨癒合が得られますが、中に椎体の骨癒合が得られず偽関節となり、疼痛が持続したり神経症状が出現することがあります。その場合には手術療法を行います。

近年、化膿性脊椎炎は、免疫力が低下した感染性の患者さんの増加とともに増加傾向にあります。本疾患はできるだけ早期に診断し、抗生剤投与を開始することが重要です。腰痛とともに熱発を認める場合には本疾患を疑い、CTやMRI検査を行うことが必要です。

当科では可能な限り、透視下あるいはCTガイド下に椎体・椎間板生検を行い、起炎菌を同定するとともに、感受性のある抗生剤投与を行います。腸腰筋膿瘍を認める場合には、ドレーンを留置し、排膿を行います。それでも改善を認めない場合には、手術療法を行います。

2. 手術療法

頸椎の狭窄、椎間板ヘルニアに対しては、主に病変が2椎間までであれば前方除圧固定術を、多椎間病変であれば後方から椎弓形成術(当院では片開き式)を行っています。

腰部脊柱管狭窄症に対しては腰椎椎弓形成術や椎弓切除術といった後方除圧術を、椎間板ヘルニアに対してはLove法に準じた椎間板摘出術を行っています。除圧時には顕微鏡を用いてより小さな侵襲で安全な操作を心がけています。

すべりがあり、不安定性を認める脊柱管狭窄症の場合には、pedicle screw systemに加え、椎体間ケージを用いた後方椎体間固定術を行います。また、最近では側方や斜前方の小皮切から椎体間に大きなcageを挿入し、後方から経皮的にpedicle screwを刺し固定する低侵襲な方法が普及しつつあり、当院でも導入する予定です。

胸腰椎圧迫骨折後偽関節に対しては、

経皮的に椎体内に骨セメントを注入するBalloon Kyphoplasty(2012年から)や、除圧が必要な場合には、除圧後、椎体内に人工骨を充填し、pedicle screw systemを用いて後方から固定術を行っています。

いずれも2週間程度で退院可能となりますが、筋力低下や歩行障害を認める場合には、地域包括ケア病棟がありますので、リハビリに専念していただくことができます。

腰椎単純CT：圧迫骨折後偽関節



Balloon Kyphoplastyにより椎体内へセメントを充填



終わりに

診療においては、麻酔科、内科の先生方や、外来、病棟、ICUの看護師、手術室スタッフ、リハビリスタッフなどの協力が不可欠です。今後も院内での連携を深め、よりよい治療を進めていきたいと考えております。

日頃から県内の多くの先生方からご紹介をいただき、深く感謝しております。最新の知識や技術をもとにエビデンスに基づいた質の高い、安全性に配慮した医療の提供を考えています。今後とも地域のお役に立てるよう精進していく所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

整形外科外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	嶋村丸山 ○大坪	宮本阿部 萩山	河田大坪 ☆萩山 ☆久保	河田本丸山	嶋村久保 阿部	担当医
午後	手術	久保	—	手術	大坪 □宮本	

手と肘外来 月曜日 午前 ○大坪
脊椎外来 水曜日 午前 ☆萩山、☆久保
膝関節外来 金曜日 13:30～15:30 □宮本

←脊椎術中写真：左が萩山医師、右が久保

